

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2005-130176 (P2005-130176A)  
 【公開日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-019  
 【出願番号】特願 2003-363275 (P2003-363275)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 M 1/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 18 日 (2006.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

受話信号を出力する前記外部機器の一種類であるイヤホン機器を接続するためのイヤホン端子群と

画像信号を出力するための画像端子と

を備えている携帯端末において、

前記イヤホン端子群及び前記画像端子に画像信号及び音声信号を出力するための前記外部機器の一種類であるケーブル機器が接続された場合、このケーブル機器に応じた出力制御を行うことを特徴とする携帯端末。

【請求項 2】

前記出力制御は、前記端子群に挿入された前記外部機器の種類を識別することができる識別手段と、この識別手段によって識別した前記外部機器に応じた出力制御を行う出力制御手段によって行われることを特徴とする請求項 1 に記載の携帯端末。

【請求項 3】

前記識別手段は、携帯端末内に配設された所定の携帯端末検出線と前記外部機器内に配設された所定の外部機器検出線が接続されることによって生じる電圧の変化によって行うことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯端末。

【請求項 4】

受話信号を入力する前記外部機器の一種類であるイヤホン機器を接続するためのイヤホン端子群と

画像信号を入力するための画像端子と

を備えている携帯端末において、

前記イヤホン端子群及び前記画像端子に画像信号及び音声信号を入力するための前記外部機器の一種類であるケーブル機器が接続された場合、このケーブル機器に応じた入力制御を行うことを特徴とする携帯端末。

【請求項 5】

前記入力制御は、前記端子群に挿入された前記外部機器の種類を識別することができる識別手段と、この識別手段によって識別した前記外部機器に応じた入力制御を行う入力制御手段によって行われることを特徴とする請求項 3 に記載の携帯端末。

【請求項 6】

前記識別手段は、携帯端末内に配設された所定の携帯端末検出線と前記外部機器内に配設された所定の外部機器検出線が接続されることによって生じる電圧の変化によって行うことを特徴とする請求項 5 に記載の携帯端末。

【請求項 7】

音信号を出力する音端子と所定の電圧が付与されている検出端子とグラウンドに接続しているグラウンド端子を備えた携帯端末に接続するケーブル機器において、  
該音端子に接続可能なケーブル機器側音端子と、該検出端子に接続可能なケーブル機器側検出端子と、前記ケーブル機器側検出端子に検出用抵抗を介して接続し、該グラウンド端子に接続可能なケーブル機器側グラウンド端子とを備えたことを特徴とするケーブル機器。

【請求項 8】

外部のケーブル機器が携帯端末に接続されたことを検知するケーブル機器検知システムにおいて、  
音信号を出力する音端子と所定の電圧が付与された複数の検出端子とグラウンドに接続しているグラウンド端子を有した携帯端末と、前記音端子に接続可能なケーブル機器側音端子と、前記複数の検出端子にうちの 1 つに接続可能なケーブル機器側検出端子と、前記ケーブル機器側検出端子に検出用抵抗を介して接続し、前記グラウンド端子に接続可能なケーブル機器側グラウンド端子とを有したケーブル機器を備え、複数の前記検出端子のうち 1 つの検出端子と前記外部機器側検出端子が接続されることによって生じる電圧の変化によって、接続された前記検出端子を識別し、識別結果に応じて前記ケーブル機器に前記携帯端末から出力する信号を制御する制御手段とを備えたことを特徴とするケーブル機器検知システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】携帯端末、ケーブル機器及びケーブル機器検知システム